

重点 施策	目指 す市 民の 姿	基本 施策	行動 目標	事業の 方向性	実施担当課 (健康はだの21 重点施策No.基本施策No. 行動目標No. 参照ページ)	担当課 評価	担当課評価理由
					課題と今後の方向(改善案)		
食を通じた健康づくりの推進	秦野の食文化を大切にし、健康な食生活を送る	健全な食生活を実践するための支援	望ましい食習慣を身に付けよう	朝食を生活指針(特に朝食)に大切さを認識し、普及啓発をします。 朝食生活の関心・関与の向上(特に朝食)により、食生活改善推進員養成講座(重点1 基本1-2 行動1 1-①再掲)の開催、食育講座の開催、おめでた家族教室(地場産野菜を使用した妊婦食の試食)、離乳食セミナー、幼児食と歯のセミナー、食生活指針(特に朝食)について普及啓発(重点2 基本2-1 行動1 3-②、③、④再掲)を実施します。	⑥ <健康づくり課> (重点施策2 基本施策2-1 行動目標2 pp. 44-46)	B	<ul style="list-style-type: none"> すべての行動目標に向けて計画どおり事業は実施されたが、養成講座については参加者が少なく、周知や実施方法に課題があるため、Bとした。 今後も各食育事業の実施と指針の活用を図っていく。 ライフスタイルが多様な中で、健康的な食生活を送ることを浸透させるために、さまざまなライフステージに適応した事業を展開していく必要がある。
					平成29年度実施計画	平成29年度実施状況	
					1 関係機関の育成・連携による食育講座の実施 ①地域へ健康を推進する市民団体の育成 ・食生活改善推進員養成講座(重点1 基本1-2 行動1 1-①再掲) ②食育講座の開催 2 関係機関の育成・連携による食育講座の実施 食育講座の開催 ・おめでた家族教室(地場産野菜を使用した妊婦食の試食) ・離乳食セミナー ・幼児食と歯のセミナー 2 食生活指針(特に朝食)について普及啓発 (重点2 基本2-1 行動1 3-②、③、④再掲) ① 週4日以上朝食を食べる人の割合(40~50代) 90%(H29年度目標値) ② 3歳6か月健診 朝食欠食率3.0%	→	1 関係機関の育成・連携による食育講座の実施 ①地域で健康を推進する市民団体の育成 7回/年実施 修了者数 8人 ②食育講座の開催(再掲 重点2 基本2-1 行動1 1-②) 2 関係機関の育成・連携による食育講座の実施 食育講座の開催 10回74人 22回630人 12回195人 2 食生活指針(特に朝食)について普及啓発 (重点2 基本2-1 行動1 3-②、③、④再掲) 80.4% H28年度法定報告(KDBシステムより) 3歳6か月時の朝食欠食率 3.7%
					⑦ <高齢介護課> (重点施策2 基本施策2-1 行動目標2 pp. 44-46)	B	<ul style="list-style-type: none"> 栄養改善に運動を加えたサルコペニア予防事業は対象者の体力が改善、自主化に向けた支援を行い自主活動へ繋がった。 食の提供を行うボランティアに対して、衛生指導を重点的に行った。 介護保険法の改正に伴い、新規事業として要支援者等への訪問サービス(介護予防・日常生活支援総合事業)を開始し 介護予防活動が地域住民主体により活発に行われていくに伴い食の提供を行う活動の重要性から、平成30年度は、ミニデイサービス、いきがい型デイサービスの全てで衛生講座に加え調理指導も実施していく。 介護予防・日常生活支援総合事業(3~6か月コース)の充実を図る。
平成29年度実施計画	平成29年度実施状況						
1 食生活改善のための食育事業の実施 ①介護予防普及啓発事業 ・楽しく健やかクッキング(秦野市食生活改善推進団体が事業協力) 3回/年(3日間) ・食べて動いてサルコペニア予防 3回/年(5日間) ・食の衛生講話(食のボランティア対象) 食を提供するボランティア団体への講座 3回/年 ・出前講座 25回/年 ②栄養改善 訪問事業 ・介護予防・日常生活支援総合事業(介護保険法改正により新規実施) 要支援者等に対し、管理栄養士の訪問による栄養指導を実施 ・訪問指導 全高齢者対象(単発の訪問指導で終了)	→ 新規 → 新規 →	1 食生活改善のための食育事業の実施 ①介護予防普及啓発事業 ・楽しく健やかクッキング 3回/年(3日間) 9回 実41人 延116人 男性向けを1回実施し好評。 ・食べて動いてサルコペニア予防 1回/年(5日間) 5回 実20人 延93人 ※自主化支援7回 実21人 延102人 ・食の衛生講話(対象:ミニデイサービス、いきがい型デイサービスのボランティア) 14回/年 参加者211人 ・出前講座 23回/年 参加者378人 ・ミニデイ 9回/年 参加者245人 ②栄養改善 訪問事業 ・介護予防・日常生活支援総合事業(3~6か月コース) 訪問対象者 6人 延56回 ・訪問指導(単発) 訪問対象者 1人 2回					

重点 施策	目指 す市 民の 姿	基本 施策	行動 目標	事業の 方向性	実施担当課 (健康はだの21 重点施策No.基本施策No. 行動目標No. 参照ページ)	担当課 評価	担当課評価理由
							課題と今後の方向(改善案)
2 食を通じた健康づくりの推進	秦野の食文化を大切にし、健康な食生活を送る	2-2	1	1 2 3 4 みなで楽しく食べよう	⑧ <健康づくり課> (重点施策2 基本施策2-2 行動目標3 pp. 47-48)	A	・計画どおり事業は実施され、地域で開催される食育講座は定員を超える参加者数を達成するなど、参加者数及び実施回数も概ね達成されたためAとした。 ・事業の継続実施・各種食育事業等の実施を通じて、市民の食への関心を高め、食育を喚起することができた。今後も市民ニーズに合わせた食育事業等を実施していく。
					平成29年度実施計画		平成29年度実施状況
					1 食育事業の実施 ① 食育講座の開催(再掲) ・スリムアップバランス料理講座 7回/年 ・生活習慣病予防のためのクッキングセミナー 3回/年 ・はだの野菜ヘルシー料理講座 通常版11回/年 ・ 地域版 5回/年 ・PTA向け出張食育講座 3回/年 ② 食育講演会の実施 1回/年 参加者 150人 食育への関心が高まった人の割合が増える		1 食育講座等の実施 ① 食育講座の開催(再掲) ・スリムアップバランス料理講座 7回/年実施 延べ参加者数 70人 平均 10人/回 ・生活習慣病予防のためのクッキングセミナー 3回/年実施 延べ参加者数 48人 平均 12人/回 ・はだの野菜ヘルシー料理講座 通常版 11回/年実施 延べ参加者 281人 平均 25.6人/回 地域版 5回/年実施 延べ参加者 71人 平均 14.2人/回 4回/年実施(中学校2校 20人 ・ 小学校1校 38人・幼稚園1園15人) ② 食育講演会の実施 参加者169人 食育への関心が高まった人の割合が増える 100%(アンケート回収率93.5%)
			2	秦野の食文化を見直そう	⑨ <農産課> (重点施策2 基本施策2-2 行動目標4 pp. 49-50)	A	・計画どおり事業は実施され、参加者又は実施回数等も達成できたためAとした。 ・事業の継続実施を通じて、地産地消に係る各施策の拡充を図り、秦野市民の食文化見直しに貢献したい。
					平成29年度実施計画		平成29年度実施状況
					1 地場産品や伝統料理に触れる機会や生産者との交流 ① 親子地場産野菜教室 ・開催数13回 ・参加親子15組 ② 秦野の農村レストラン ・製造責任者の退会により、イベントへの参加及び地産地消弁当の販売については要協議 2 地産地消を実践しやすい環境づくり ① はだの産農産物応援サポーター制度 ・事業所等サポーター35団体 ② 地産地消月間(はだのっ子が考えた地産地消アイデア料理を食べよう月間) ・参加店2店 ・商品化レシピ2作品 ③ 秦野の農村レストラン(再掲) 3 安全・安心な農産物生産の支援 ① 秦野市優良農産物等登録認証制度 ・登録品目5品目 ・登録生産者29名 4 情報の提供 ① 地産地消イベント「食卓から考える地産地消」 ・参加者20人 ② 秦野の農村レストラン(再掲)		1 地場産品や伝統料理に触れる機会や生産者との交流 ① 親子地場産野菜教室 ・開催数14回 ・参加親子13組 ② 秦野の農村レストラン ・たばこ祭りおよび市民の日への参加を実現。地場産農産物等を使用した料理の販売 2 地産地消を実践しやすい環境づくり ① はだの産農産物応援サポーター制度 ・事業所等サポーター37団体 ② 地産地消月間(はだのっ子が考えた地産地消アイデア料理を食べよう月間) ・参加店11店 ・商品化レシピ8作品 ③ 秦野の農村レストラン(再掲) 3 安全・安心な農産物生産の支援 ① 秦野市優良農産物等登録認証制度 ・登録品目5品目 ・登録生産者29名 4 情報の提供 ① 地産地消イベント「食卓から考える地産地消」 ・参加者20人 ② 秦野の農村レストラン(再掲)